

多核種除去設備 β線連続モニタ設置について

平成26年12月25日
東京電力株式会社



β線連続モニタ設置の目的

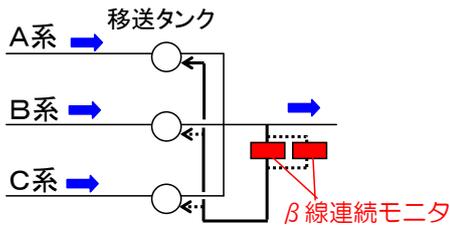
- 本年3月、多核種除去設備B系統のクロスフローフィルタ（以下、CFF）パッキン損傷に伴う炭酸塩スラリー流出事象により、下流側設備（サンプルタンク、移送配管等）において、放射能（全β）濃度の上昇を確認。
- 改良型CFFの採用※1、バックパルスポットの圧力調整※1等、信頼性向上対策を実施しているものの、更なる信頼性向上として、**出口放射能濃度が上昇した際の早期検知※2を目的**とし、出口側に**β線連続モニタを設置**。
- 増設多核種除去設備は、β線連続モニタ設置工事を完了し、準備が整い次第運用を開始予定。
- 多核種除去設備は、β線連続モニタ制御改造を実施中。
- 高性能多核種除去設備は、β線連続モニタの設置工事を実施中。

※1 高性能多核種除去設備では、CFF、バックパルスポットを採用していないため対象外。

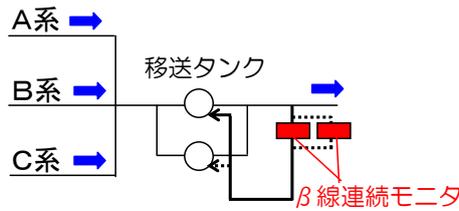
※2 定例サンプリングで処理水の性状を適宜確認しており、かつサンプルタンクで処理性能に問題ないことを確認してから、処理済水貯蔵タンク群への移送を実施しているものの、更なる早期検知を目的とする。

β線連続モニタの概略仕様

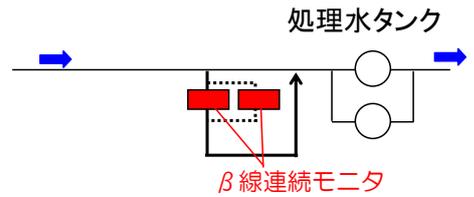
- 測定核種：全β
- 設置台数：2台（1台予備）
- 検出感度：数十Bq/L※1
- 設置箇所：吸着塔出口に設置



多核種除去設備系統構成



増設多核種除去設備系統構成



高性能多核種除去設備系統構成

※1 炭酸塩スラリー流出等に起因する異常な線量上昇検知を目的として設定

スケジュール

■スケジュール

	11月		12月	
	下	上	中	下
多核種 除去設備	β線連続モニタ設置		制御改造※	運用開始
高性能多核種 除去設備	β線連続モニタ設置		実液通水確認	運用開始

工程調整中

※制御改造中は、処理運転を停止